

**令和2年度
長野県サービス管理責任者
児童発達支援管理者
更新研修 オンライン**

更新研修の目的

基礎・実践・更新研修のねらい

更新研修：自己検証 1日
(R5~2日間)

施策の最新の動向、自己検証、スーパーバイズ、人材育成によるサービス(支援)の質の向上

5年毎

サービス(児童発達支援)管理責任者として継続

実践研修：質の向上 R3~

支援会議の運営、サービス(支援)提供職員への助言・指導、個別支援計画の質の向上、人材育成によるサービス(支援)の質の向上

5年

サービス(児童発達支援)管理責任者として配置

基礎研修：プロセスの理解 4日間

アセスメント、個別支援計画の作成、相談支援専門員との連携、多職種連携

3年

原案作成が可能

令和元年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修会資料をもとに図を作成しています。

更新研修の目的

◎行政動向、制度改正等の最新情報
(アップデート)を図る。



更新研修の目的

◎サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の自己検証を通じて、その業務や役割を再認識し、サービス（支援）の質の向上や人材育成、地域でのネットワークづくりにいかす。



更新研修の目的

①サビ児管自身と事業所の現状を振り返り、ステップアップのためのアイディアを得る。

⇒演習1・2

②地域におけるサビ児管のネットワークや連携のきっかけをつくる。⇒演習3・4

③地域連携を深め、事業所や地域における人材育成を更に図るための取り組みを検討する。⇒演習4

更新研修 キーワード

① 権利擁護・自己決定・本人中心の支援

② ケアマネジメントの視点

⇒ 地域で暮らすために

連携・ネットワーク・チーム支援

③ 人材育成

⇒ 3年・5年・10年先を見据えて

今取り組むこと

講義 1 「障がい福祉施策の最新の動向」

○目的

行政動向・制度改革等のアップデートを図る。



演習 1 事業所の自己検証

○目的

グループワークを通じて、それぞれの事業所の良い実践や課題等を共有することにより、今後の事業所の取り組みに生かす。



演習 2 サビ児管の自己検証

○目的

自身のサビ児管業務を振り返り、
良い取り組みや業務の課題等を共有す
ることにより、更なるステップアップ
を目指す。



演習 3 地域の関係機関との連携

○目的

地域との関わりや連携の状況を振り返り、ネットワークづくりの為の取り組みや地域における支援の在り方について検討する。



講義 2 『サービス管理責任者・児童 発達支援管理責任者の役割』

○目的

講義を通じてサビ児管の役割を再確認し、チェックリストを振り返り、業務の改善やステップアップに役立てる。



演習 4

関係機関との連携

グループスーパービジョンの理解

(GSV)

○目的

地域連携を深め、事業所や地域における人材育成を更に図るために、GSVの手法を理解し、実践にいかす。